

和地ひとみレポート No.155

第18回統一地方選挙

今後4年間の東大和市長、市議会議員の顔ぶれ決まる



■投票率は・・・

…4月26日(日)、第18回統一地方選挙の開票が行われ、今後4年間、東大和市民の負託を受け、市政をリードする市長と、市民の声を届け、市政をチェックする市議会議員の顔ぶれが決定しました。

…今回の選挙の東大和市の有権者数は68,519人。投票率は市長選挙50.25%、市議会選挙50.28%。前回の選挙では有権者数が66,763人、投票率は市長選挙が52.52%、市議会選挙は52.54%。有権者数は4年前よりも増加したにもかかわらず、投票に参加された方は前回よりも600人以上も少ないという、少し残念な結果に終わりました。

…投票率が低い原因は「投票しても変わらない」という諦めの気持ちの現れとも思います。この諦めの気持ちについては、立候補者側にも問題はあります。4年に1度の市政の方向性を決める大切な選挙には、投票という形で有権者の皆様には意志を表明してほしいと思います。

…私が議員になる前、投票には欠かさず行きましたが、どこかで、上記のような諦めの気持ちもあったことは事実です。しかし、議員を4年やってみて市長によって市政の方向性が変わることで、また、議員の意見が市政に大きな影響を与えることを実感しました。そういう意味でも、投票という行為は重要だと改めて思っています。

■今後も・・・

…前回もそうでしたが、今回の選挙でも私はできる限り自分の考えを演説で伝えようと決めていました。各立候補者の自分を知っていただく方法はそれぞれですが、私はやはり、きちんと自分の考えを話す必要があると思っています。今回の選挙期間で実施した演説の回数は158回。多くの方が、足を止め、または、家から出てきて、窓を開けて、ベランダでという形で私の演説を聞いてくださり、大きな励みをいただきました。余談ですが、選挙の後に立候補者が有権者に「お礼」を言う、文字にすることは、法律で禁じられていますので、言葉にはできませんが、私の気持ちを察して頂ければ幸いです。

…今回、私が演説で伝えなかった点は大きく2点です。特に「市民の納得感」の得られる行政の実現については、限られた財源を市民の納得感の得られる形で使い、企業のように、きちんとその内容や情報を市民に伝える必要があると考えて、述べさせていただきました。

…市民の皆様の負託を再びいただいたことを胸に、私は、これから先4年間、1期目の経験を活かすとともに、これからも市民の感覚、民間の感覚を忘れずに取り組んでいきたいと思っています。また、顔の見える議員として、今後も月曜日の駅でのレポートの配布を継続していきます。よろしく願いいたします。

【選挙中の演説の概要】

私は、この4年間、民間企業で培った経営感覚、市民の感覚、常識という視点で市政をチェックし、様々な提案、改善策を市政に伝えてきました。おかげさまで、市でも私の意見を大きく取り上げて頂き、東大和市は改善、前進の道を一步一步進んでいるところです。しかし、まだまだ、改善の余地はある、工夫の余地はあると私は考えています。さて、今年度の東大和市の当初予算総額は初め500億円の大台に乗りました。当初予算総額は510億円。これは私が初めて市議選に挑戦した4年前の当初予算総額より73億円も大きい額です。東大和市の予算が大きくなった要因はいくつかありますが、一つ、大きな物をあげるとしたら、昨今ニュースで報じられている『地方分権』が大きく前進した、本格的な幕開けとなったということが挙げられます。今まで多くの行政サービスは国や東京都がその内容、計画、ルールを決め、市はそのサービスを市民の皆様にお届けする役を担っていました。しかし、地方分権が進むこれからの時代は、国や東京都から大きな予算が各市区町村に下りてきて、それとともに、各地域にあった、そして、そこに住んでいる人にあった独自の行政サービスを作って良いという権限も共に下りてきています。今後、東大和市も、子育て支援、教育、介護、福祉といった様々な分野で東大和市独自のサービスを作り、市民の皆様へ届けることになります。

『行政は市民のためのサービス業』という表現を市は様々な場面で使います。

民間企業、特にサービス業の会社が更に大きく繁栄したい、より多くの方に愛されたいと考えたときに最初にするのは、お客様の声を聞き、そして一つでも多くお客様のニーズを実現させる努力をすることです。これは、民間企業の基本中の基本です。今後、東大和市も独自のサービスを作れる時代になったからには、このような民間企業の感覚を今まで以上に取り込み、今まで以上にお客様である市民の声に耳を傾け、ひとつでも多く市民の望む、そして東大和市に合ったサービスを実現させる必要があると私は思います。そういう点でも、市民の声を届ける市議会議員の重責は益々大きくなります。私は、時代が大きく変わる最初の4年間、市民の皆様の声、ニーズを丁寧に行政に伝えていく所存です。さらに、限られた財源については、市民の皆様への納得感を得られる形で使い、そして、その内容をきちんと市民の皆様へ報告することで、納得していただく。このような時代に合った、市民の納得感の得られる行政の実現も私は推し進めていきます。住んでいる市民の皆様が「住んでいてよかった」「ずっと住み続けたい」と思える東大和市になるよう、さらに、これから住むところを決める若い世代の方から「東大和市は良いところだ、是非、住みたい」という声がたくさんあがる東大和市になるよう、私は全力で取り組んでまいります。

第18回統一地方選挙 東大和市長選挙、市議会選挙結果

【投票率】

■市長選挙	当日有権者数			投票者数			投票率		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
今回(平成27年)	33,965	34,824	68,519	16,384	18,050	34,434	48.62%	51.83%	50.25%
前回(平成23年)	33,053	33,710	66,763	16,716	18,351	35,067	50.57%	54.44%	52.52%

■市議会議員選挙	当日有権者数			投票者数			投票率		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
今回(平成27年)	33,965	34,824	68,519	16,388	18,060	34,448	48.64%	51.86%	50.28%
前回(平成23年)	33,053	33,710	66,763	16,721	18,351	35,067	50.59%	54.45%	52.54%

【選挙結果】

■市長選挙

立候補者	得票数	当落
尾崎やすお	19,618	当選
尾又まさのり	13,627	

■市議会議員選挙

当落	立候補者	所属党派	得票数
当選	尾崎いいち	共産党	1967
当選	森田けんじ	自民党	1794.544
当選	二宮よしこ	民主党	1794
当選	はちすかかずまさ	自民党	1793
当選	押本修	自民党	1764
当選	上林まさえ	共産党	1744
当選	東口まさみ	公明党	1705
当選	じつかわ圭子	生活者ネット	1662
当選	中村庄一郎	自民党	1651
当選	佐竹やすひこ	公明党	1563
当選	あらはた伸一	公明党	1549
当選	森田真一	共産党	1535.455
当選	なかま健二	公明党	1506
当選	きどおか秀彦	公明党	1403

当落	立候補者	所属党派	得票数
当選	中野しのぶ	無所属	1281
当選	和地ひとみ	無所属	1276
当選	とこなべよしひろ	無所属	1212
当選	関田まさたみ	無所属	1091.553
当選	だいがはるお	民主党	1083
当選	関田みつぐ	無所属	1045.446
当選	根岸としひこ	無所属	914
当選	関野たかなり	無所属	711
	若林かずお	無所属	600
	矢野研介	無所属	480
	原口静夫	無所属	283
	ささきただし	無所属	222
	やまうち章明	無所属	50

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。現在、市議会議員2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
 ✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
 〒207-0005 東大和市長高木3-274-2-102